

第21回 九州ブロックセミナー 鹿児島大会

大会テーマ：新しい時代の要請に応える保育士養成の課題と展望
～保育士の量的拡大と質の確保～

日時：2019年8月22日（木）～23日（金）

会場：鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島県 鹿児島市 与次郎 1-8-10 電話099-253-2020）

■ご案内■

みなさまにおかれましては、平素より実習や就職をはじめとして保育者養成に多大なるご尽力を賜り、まことにありがとうございます。この九州ブロックセミナー（以下、本セミナー）は保育者養成校教員の交流と資質向上をめざし、毎年、九州各県の持ち回りで開催しております。今年は鹿児島市におきまして8月22日～23日の日程で実施する運びとなりました。

さて、昨今の保育・幼児教育への関心の高まりと急激な保育情勢の変化にともない、質の高い保育と、それを担う保育者養成が、社会全体で求められています。そのためには私たち養成校だけでなく、保育現場の先生方と手を取りあい、さらなる連携・協働することが必要であると考えます。つきましては、現場の先生方にも本セミナーにご参加いただきまして、立場を超えて交流しつつ相互理解を深め、より豊かな保育者の養成・育成を目指す「協働の基盤」をつくることのできればと思います。

園務ご多忙の中とは存じますが、是非とも本セミナーにご参加いただきますようお願い申し上げます。

九州ブロックセミナー 鹿児島大会 実行委員長 藤尾 清信（鹿児島純心女子大学）

■プログラム■

<1日目 8/22 >

13:30～14:00 受付（受付にて参加費をお支払いください）

14:00～14:30 開会式（常任理事挨拶 / 開催県代表挨拶 ほかオリエンテーション・事務連絡）

14:30～15:30 基調講演 「待機児童問題と保育の質を考える」 ①
講師：前原 寛 氏

15:40～16:50 指定討議 ②
講師：岩下修一 氏・上蘭昭二郎 氏・田邊貴仁 氏

17:00～18:00 グループ討議 ③

19:00～20:50 情報交換会（別途料金必要）

<2日目 8/23 >

9:30～11:30 分科会 ④
・テーマ毎に分かれて6つの分科会が行われます。
・閉会式は、各分科会にて、各々行います。

12:00 終了・解散

※その他の各会場等の詳細につきましては、当日配布予定の「実施要項」をご参照下さい。

■参加申込み■

(1) 申込み締切り 2019年6月28日（金）

(2) 参加費 1,000円 / 人（①②③④の参加・資料代含む）
（当日受付にてお支払いください。）

○参加費には情報交換会費および宿泊費は含まれません。

○情報交換会へご参加される場合は、別途5,000円を当日受付時にお支払いください。

○領収証が必要な場合は、受付にお申し付けください。

(3) セミナー開催中止時の対応について

*台風等の災害時他諸事情により、開催が中止と判断される場合には、開催前日の正午までに鹿児島純心女子大学のHPにてお知らせいたします。参加者各自でご確認くださいようお願い申し上げます。参加者個々への連絡はいたしませんので、ご注意ください。

鹿児島純心女子大学HP <https://www.k-junshin.ac.jp/jundai/>

(4) 申込み先

〒895-0011 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地 鹿児島純心女子大学
第21回九州ブロックセミナー事務局 益満 千恵 宛

(5) お問い合わせ先

九州ブロックセミナー 鹿児島大会 幹事 広瀬健一郎（鹿児島純心女子大学）

【TEL】0996-23-5311（代表） 【E-mail】hirose@jundai.k-junshin.ac.jp

(6) 申込み手順

以下の項目に必要な事項をご記入の上、点線で切り離し、申込み先に封書にてご送付ください。（コピー可）
なお、会場の関係上、申込み状況によってはお断りをする場合もございます。予めご了承のほどお願い申し上げます。

----- <きりとり線> -----

第21回 九州ブロックセミナー大会 鹿児島大会 参加申込み用紙（保育現場用）

氏名				役職・ 職名	
施設名	〒		□□□-□□□□		
	住所				
電話	—	—	Fax	—	—
希望する分科会番号	第1希望 【 】	第2希望 【 】	情報交換会への 参加について	参加・不参加 (どちらかに○)	

①基調講演 (1日目 14:30~15:30)

待機児童問題と保育の質を考える

前原 寛 (社会福祉法人 至宝福祉会)

近年、保育界の周辺が騒がしくなっています。その中心にあるのが、待機児童問題です。今では、マスメディアの中心テーマになっており、その対策として器を拡大する政策がとられてきました。それに伴い保育士不足も浮き彫りになり、器があれども盛ることができない状態になっており、関連して保育士の処遇問題も頻繁に取り上げられています。

俯瞰してみると、保育施設という器の量的拡大、保育士という人材の量的拡大、両方が同時進行している状態です。その結果、保育の質という課題が、お題目のようには言われていますが、実際は背景に追いやられてしまい、子どもの育ちの場としての在り方が問われることなく、保育問題が語られています。

このような状況が現れてきた根っこはどこにあるのでしょうか。中心にある待機児童問題をたどっていくと、私たちの社会の持つ子どもや保育への眼差しの貧しさに行き当たります。

待機児童問題は、最近現れた問題ではありません。閣議決定された2001年の「待機児童ゼロ作戦」が始まりでもありません。平成が終わり新しい元号が施行されている時期からすると、二つ前の昭和の、それも1960年代にはすでに起きていた社会的課題です。その当時、「ポストの数ほど保育所を」のスローガンがありました。これは待機児童問題そのものです。それ以来現在に至るまで、解決されたことのない、連綿と続いている長年の懸案なのです。

保育の質の課題も、早くから指摘されてきました。昭和の頃より、現場の実践者や保育研究者は、質の向上のための条件改善を主張しています。しかし残念ながら、社会的な関心と呼ぶことはなく、保育界において継承されることも殆どないまま、現在に至っています。

新しい元号の始まりの時期に、改めて過去を振り返り、保育界にある私たちに問われていることは何かということ、一緒に考えていく機会になればと思っています。

社会福祉法人至宝福祉会理事長

1958年生まれ 東京大学文学部心理学科卒業。筑波大学大学院文芸言語研究科修了(文学修士)等を経て、鹿児島国際大学教授。現在、非常勤講師(鹿児島国際大学、第一幼児教育短期大学、鹿児島純心女子大学等)、鹿児島市子ども・子育て会議委員等を務める。

主な著書

- 『保育内容総論—保育の構造と実践の探求—』(共著、萌文書林、2019)
- 『子どもの「今」を護れるか—待機児童問題から見える社会の姿—』(単著、創成社、2018)
- 『日常の保育を基盤とした子育て支援—子どもの最善の利益を護るために—』(共著、萌文書林、2018)
- 『子育て支援の危機—外注化の波を防げるか—』(単著、創成社、2008)
- 『保育は〈子ども〉から始まる』(単著、ミネルヴァ書房、2005)

②指定討議 (1日目 15:40~16:50)

保育所の立場から・・・岩下 修一 (鹿児島県保育連合会会長)

1967年生まれ 西日本短期大学社会福祉法学科卒業、社会福祉法人富士福祉会富士保育園事務員として入職、1992年園長就任、現在に至る。社会福祉法人鹿児島県保育連合会会長(6月で任期満了予定) 鹿児島県子ども子育て支援会議委員、鹿児島県放課後子ども総合プラン推進委員、鹿児島県発達支援地域協議会委員、鹿児島県総合療育センター連絡協議会委員を務める。

児童養護施設の立場から・・・上菌昭二郎 (社会福祉法人明澈会理事長・南さつまこどもの家所長)

1952年生まれ 西南学院大学法学部法律学科、鹿児島経済大学(現 鹿児島国際大学) 社会福祉学部社会福祉学科卒業。九州大学生協同組合を経て社会福祉法人明澈会(メイテツカイ) 知覧児童学園(現 南さつま子どもの家)に入職、2009年より現職。その他、鹿児島純心女子大学こども学科、鹿児島国際大学児童学科等にて非常勤講師を歴任。小舎制養育研究会理事、南さつま子どもの家子どもと家族の相談室カウンセラー、南さつま市子ども子育て支援会議委員、南さつま市社会福祉協議会評議員、公益法人壽崎育英財団評議員を務める。

児童発達支援の立場から・・・田邊貴仁 (社会福祉法人川上福祉会 おひさまSun(児童発達支援センター)所長)

1964年生まれ 四国学院大学文学部社会福祉学科卒業。社団法人九州子ども発達研究センター(現、『大野城すばる園』)等を経て、鹿児島県こども総合療育センターに着任。療育支援対策監、同地域支援専門監、鹿児島県発達障害者地域支援マネージャーを歴任。その他、国分市乳幼児育成支援指導運営委員、霧島市などの心理相談員、障害者自立支援調査研究プロジェクト協力研究員、行動援護従業者養成研修全国普及推進プロジェクトチーム委員障害者総合福祉推進事業 調査事業担当員等を務める。

③グループ討議 (1日目 17:00~18:00)

基調講演と指定討議を受けて学んだことや気づいたこと等を、少人数(5~6人)で自由に話し合い、深めていきます。グループ討議では、養成校の教員と現職保育士とが共に、「保育士の質的向上と量的拡大」をテーマに、今、何ができるか、今後、何を目指していくべきかを討議します。九州ブロックの養成校教員と現職保育士の交流の輪を広げ、絆を深める機会になるよう願っております。

④分科会 (2日目 9:30~11:30)

前日の内容も踏まえつつ重点化したテーマ(主題)について時間をかけて掘り下げ討議や意見交換を行います。

分科会	テーマ	話題提供者
第1分科会	新保育所保育指針と0~2歳児の保育について	香崎 智郁代(九州ルーテル学院大学) 秋元 涼子(伊敷同朋保育園)
第2分科会	新保育所保育指針(幼保連携認定こども園教育・保育要領)の改定の方向性を踏まえた保育に向けて	西谷 憲明(鹿児島国際大学) 福富 智章(ひまわりこども園)
第3分科会	卒業後の進路との連続性から考える保育実習	脇 信明(長崎大学)
第4分科会	新卒保育者に対する支援と保育士養成校の役割について考える	小澤 拓大(宮崎学園短期大学)
第5分科会	多様な学生に対する修学支援	泊 明希佳(神村学園専修学校)
第6分科会	施設保育士の量的拡大と質の向上について—社会的養護の視点から—	大迫秀樹(福岡女学院大学)